



土湯温泉

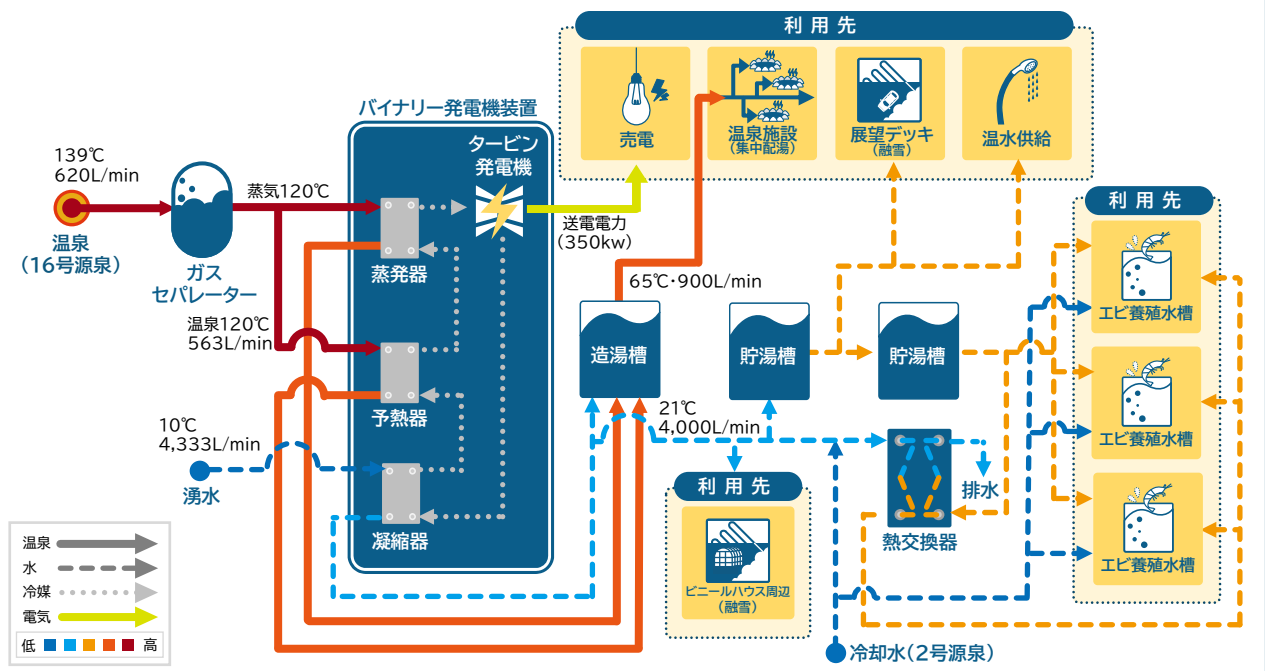


概要

温泉の蒸気と熱水を利用しバイナリー発電装置により電力を生成し、東北電力に売電を行っている。発電所から約3kmに位置する黒沢池より湧水を引込み、バイナリー発電装置の冷却水利用、そして温泉水化された冷却水を16号、17号、18号造成塔及びエビの養殖水槽へ供給するとともに、展望デッキへの融雪にも利用している。
なお、発電使用後の温泉は集中管理方式により温泉組合員へ配湯している。

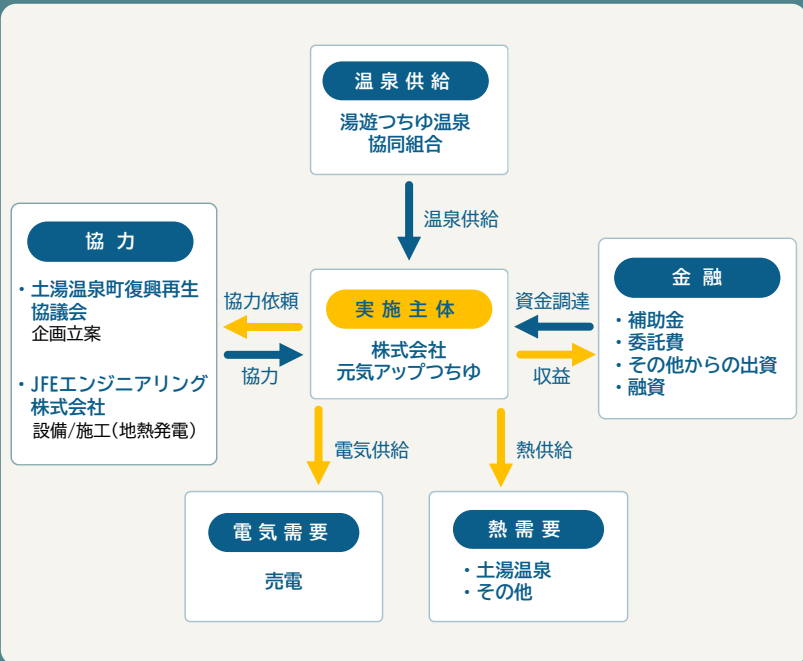


泉 質	単純温泉	CO ₂ 排出量削減効果	エネルギーコスト削減効果
熱利用温度	120℃	1,847 t-CO ₂ /年相当削減※1	90%削減※1
利用温泉	既存温泉		
総事業費	6億3,000万円（一部補助金あり）		



※ 本事例は「平成29年度・30年度温泉熱等の有効活用等普及促進調査等委託業務」にて調査・整理した事例であり、掲載情報は調査当時のものであることから、詳細な状況は変更されている可能性があります。
※ 1: CO₂排出量削減効果、エネルギーコスト削減効果は、発電量相当を購入した場合と比較して算出した推定値(二次利用による導入効果含む)です。

実施体制



事業検討の流れ

